

熊本県の二型アクセントの 音響分析 － 中南部3方言の比較から －

山田高明
(一橋大学大学院/NINJAL)

令和4年度 第2回「危機言語の保存と日琉諸語のプロソディー」合同研究発表会
(2022年12月4日、オンライン・国立国語研究所)

- 本発表は、2021年度日本音声学学会第35回全国大会ワークショップ『「九州方言音調の研究」のこれまでとこれから』にでの発表に、新たなデータを加え加筆したものです。

本発表の概要

- 熊本県の3方言（平野方言、年の神方言、野津方言）を対照
 - ✓ A型（名詞単独形）は3方言に共通して、広母音終わりのほうが下降開始が遅い
 - ✓ B型における語末の母音の広狭の影響は3タイプに分類できる
- 野津方言の1モーラ名詞（+助詞）
 - ✓ ガ-type：下降開始のタイミングで対立
 - ✓ ワ-type：下降の有無で対立

発表の流れ

1. 母音の広狭とアクセントの実現
2. データについて
3. 3方言の比較
4. 野津方言の1モーラ名詞
5. まとめ

母音の広狭とアクセントの実現

母音の広狭とアクセントの実現

- 音調と語音（分節音）の関係

- 母音の広狭：狭母音 /i, u/ vs. 広母音（非狭母音） /a, e, o/

- 北奥羽・北陸・九州北部、四国、千葉中部などには、母音の広狭がアクセントの実現に関係するようなアクセント体系が分布（松森ほか2012）

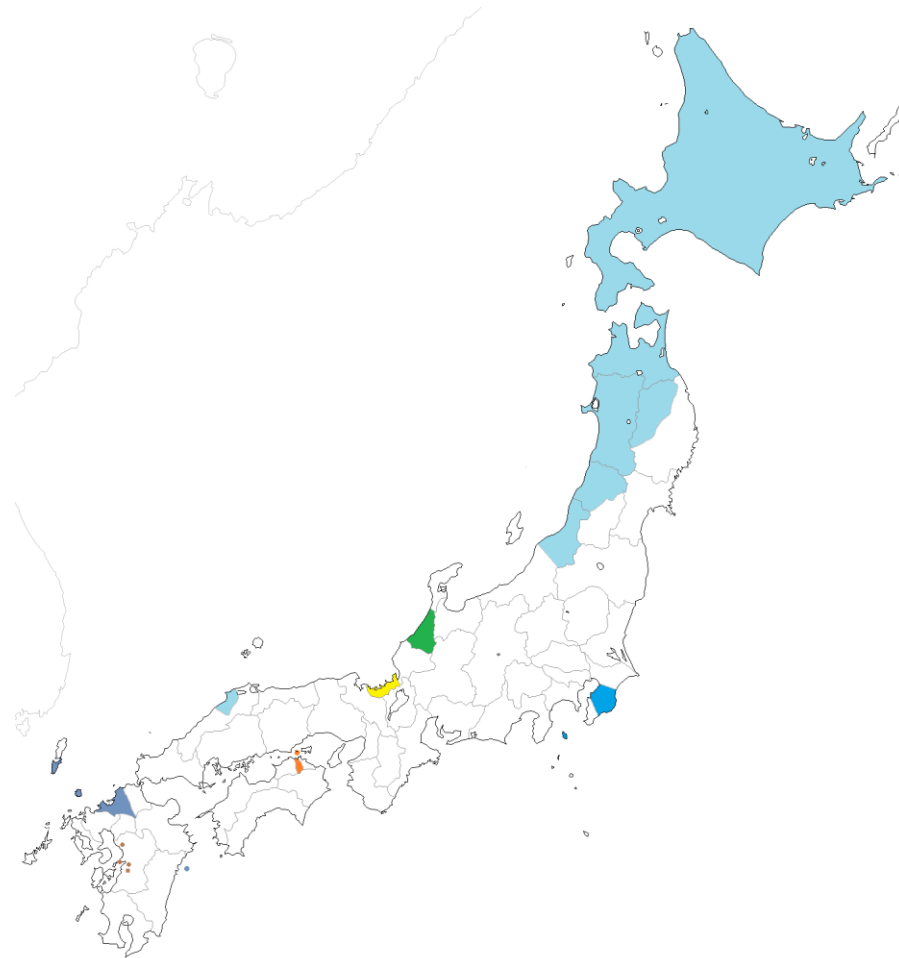
(1) 富山方言の2モーラ名詞（松森ほか2021 より）

LH-H（風-が）	HL-L（耳-が）	LH-L（山-が）
-----------	-----------	-----------

「耳」グループ：2モーラ目が狭母音、もしくは特殊拍

「山」グループ：2モーラ目が広母音（非狭母音）

母音の広狭とアクセントの実現



山田高明 熊本県の二型アクセントの音響分析：中南部3
方言の比較から

母音の広狭とアクセントの実現

- 西南部九州二型アクセント諸方言においては、少数の例を除いて母音の広狭が音調に影響するような方言は知られていない
 - 鹿児島市方言（木部2000, 木部2012）
 - 長崎市方言（坂口2001, 松浦2014）

(2) 鹿児島市方言の二型アクセント体系（木部2012）

	A型	B型
1音節名詞	[ハ]（葉）	[ハ（歯）
2音節名詞	[ハ]ナ（鼻）	ハ[ナ（花）
3音節名詞	サ[ク]ラ（桜）	ココ[ロ（心）
4音節名詞	カマ[ボ]コ（蒲鉾）	アサガ[オ（朝顔）
5音節名詞	アバラ[ボ]ネ（肋骨）	ハルヤス[ミ（春休み）

母音の広狭とアクセントの実現

- 西南部九州二型アクセント諸方言においては、少数の例を除いて母音の広狭が音調に影響するような方言は知られていない

(2) 鹿児島市方言の二型アクセント（平山1951）

➤2音節名詞

A型：[イ]シヨ（衣装）、[バ]ラ（箒）、[エ]ツ（灸）、[コ]ズ（小僧）

B型：ア[メ]（雨）、ケ[ド]（街道）、ア[キ]（秋）、シヨ[チュ]（焼酎）

➤3音節名詞

A型：ア[カ]ゴ（赤兒）、ア[ラ]レ（霰）、ア[カ]リ（灯）、フ[タ]ツ（二つ）

B型：アシ[タ]（明日）、オモ[テ]、アク[ビ]（欠）、イツ[ツ]（五つ）

母音の広狭とアクセントの実現

- 添田 (1996:213)

- 「新北肥後式」 (現在の熊本県玉名市周辺)

- B型2モーラ名詞が、語末の母音の広狭によって音調型が変わる

A型	B型	
	語末が狭母音	語末が広母音
[○]○ [○]○-ガ	[○]○ [○]○-ガ	○○ or ○[○] ○[○]-ガ

母音の広狭とアクセントの実現

- 崎村 (2006)

- 熊本県三角町大岳方言

- A型2モーラ名詞が、語末の母音の広狭によって音調型が変わる

A型		B型
語末が狭母音	語末が広母音	
[○]○	○[○]	○○

データについて

データについて



データについて



- 各話者1名
- 野津：長崎タイプ
- 平野、年の神：鹿児島タイプ

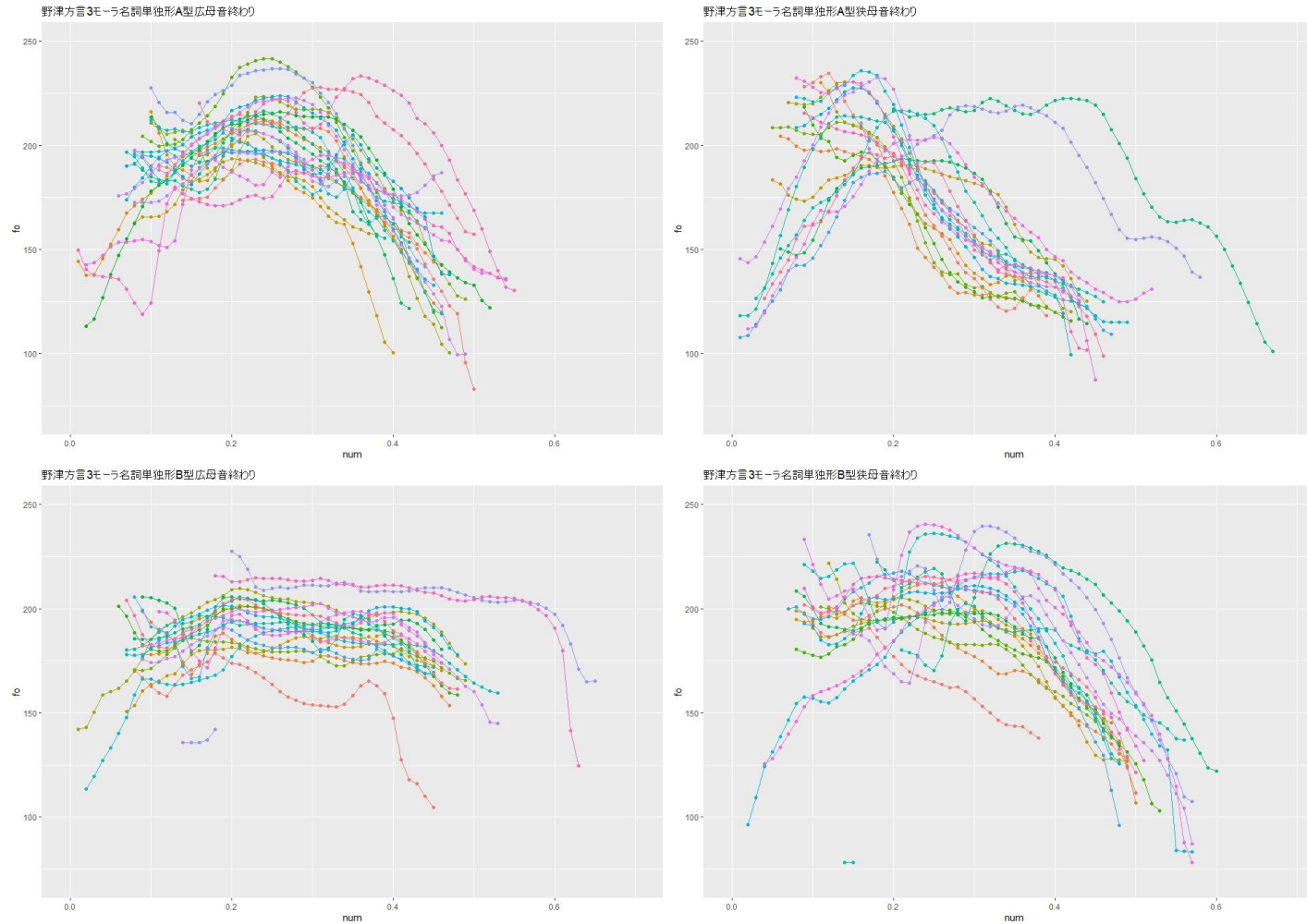
	A型5モーラ名詞
野津方言	フ[ユ]ヤスミ (冬休み)
年の神方言	フ[ユヤス]ミ (冬休み)
平野方言	[フユヤス]ミ (冬休み)

データについて

- 調査語

- CVCV構造の2モーラ名詞約40語
- CVCVCV構造の3モーラ名詞約40語
- アクセント型（A型orB型）、語末の母音（広母音or狭母音）を変数
- 各調査語につき2回ずつ読み上げていただいた

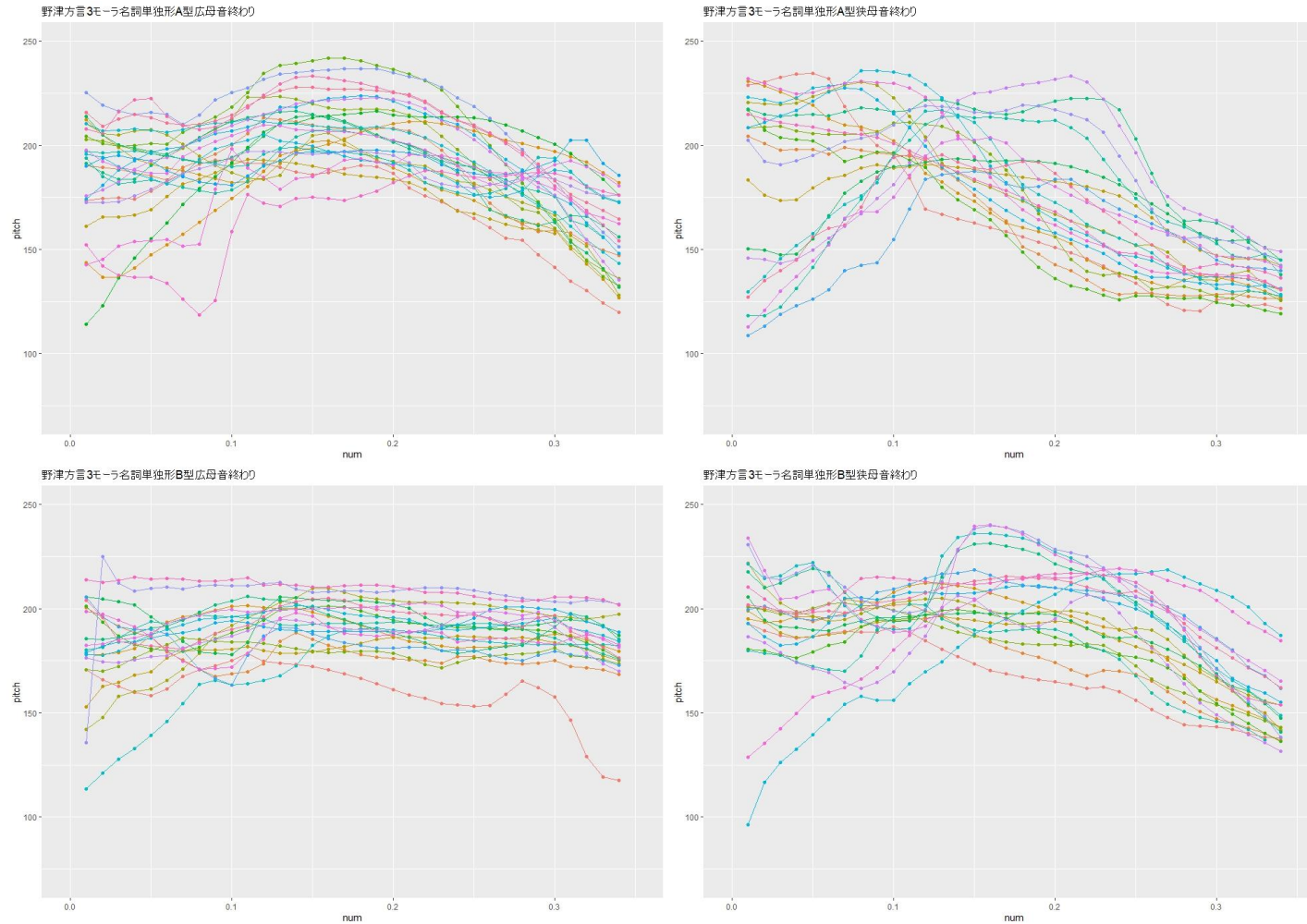
データについて



データについて

- 各セグメント (C, V) ごとに平均継続長を算出
- 各平均継続長 / 0.01でfoを抽出

データについて

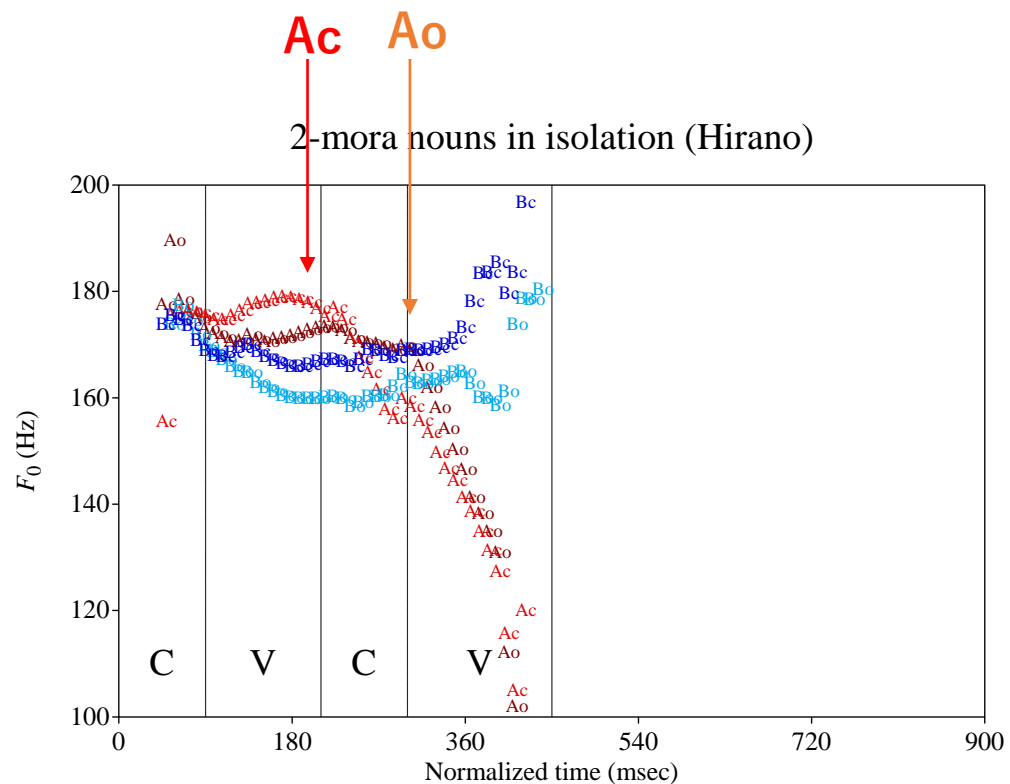


3方言の比較

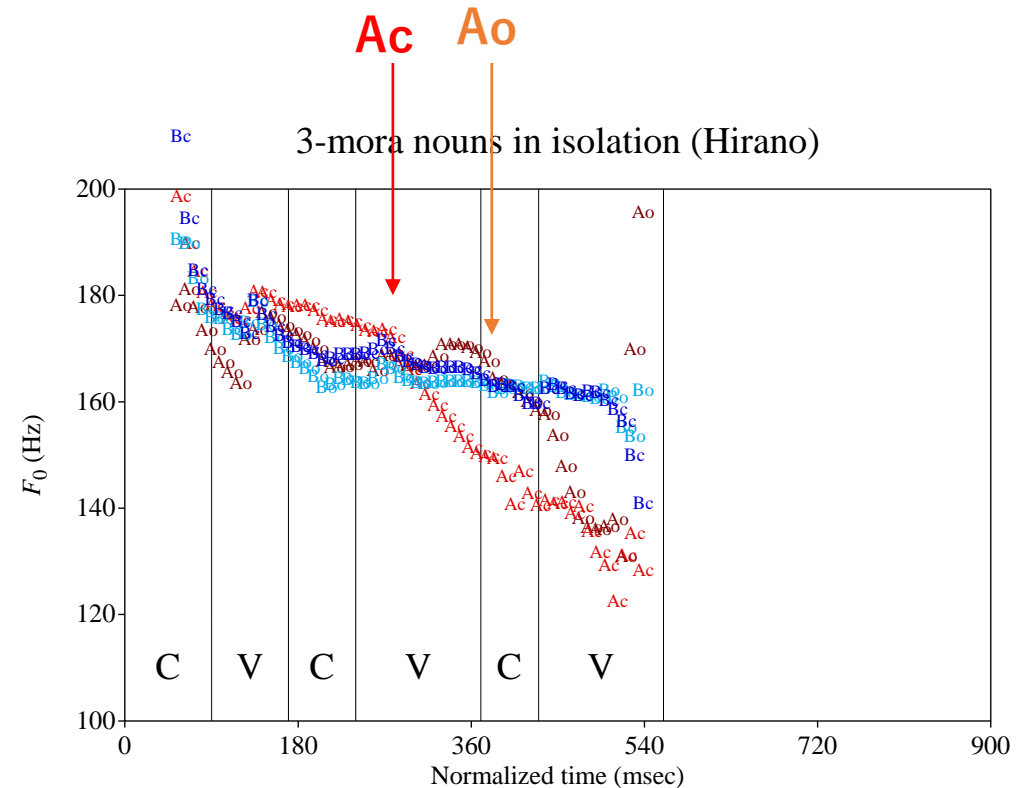
結果：A型名詞単独形

- 3方言に共通して見られる特徴
 - ✓名詞単独形で、狭母音（Ac）よりも広母音（Ao）のほうが下降の開始が遅い
- 個別の方言の観察
 - ✓野津方言の2モーラ名詞単独形では語末の母音の種類の違いが見られない
 - ✓平野方言ではアクセント単位頭のfo上昇がほとんど見られない

結果：平野方言のA型名詞単独形

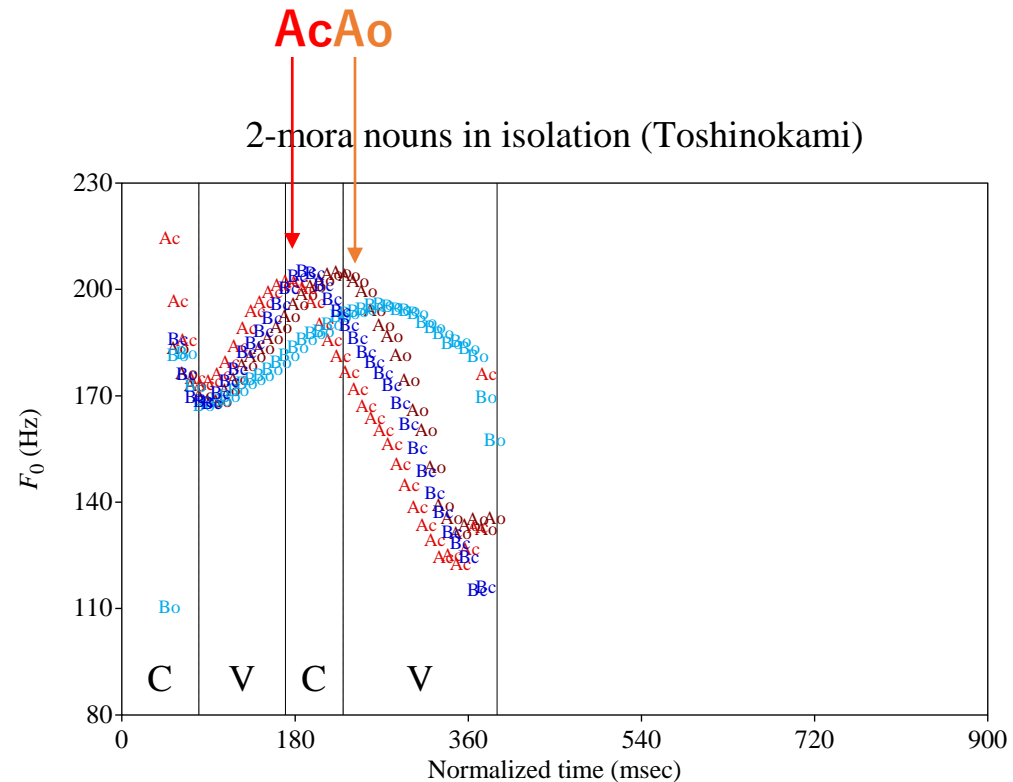


平野方言：2モーラ名詞単独形

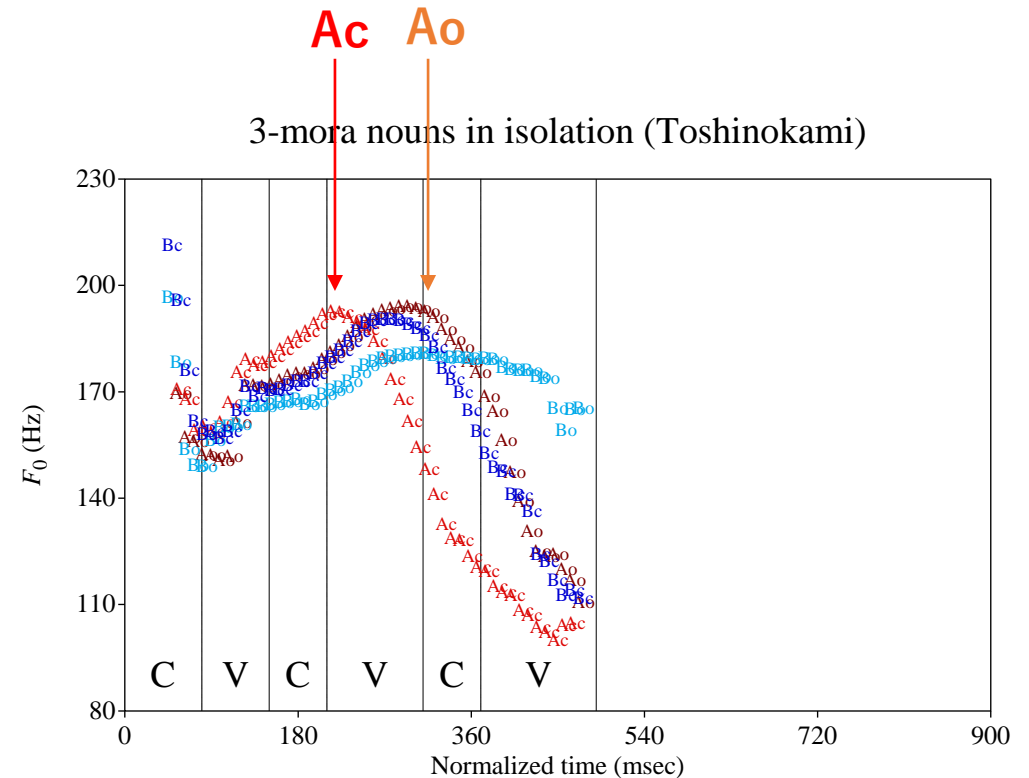


平野方言：3モーラ名詞単独形

結果：年の神方言のA型名詞単独形

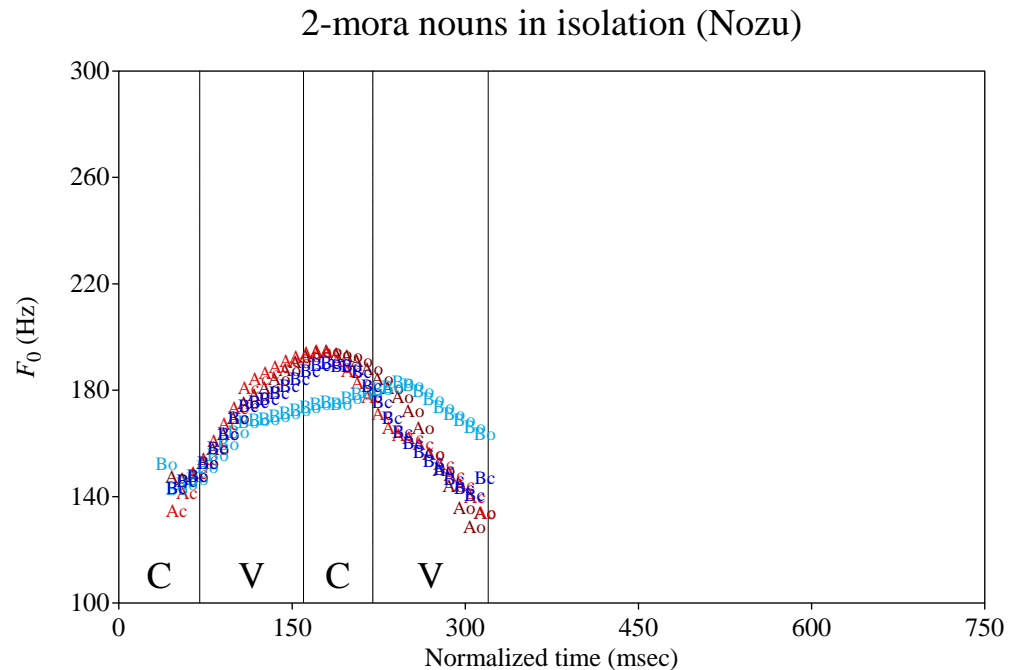


年の神方言：2モーラ名詞単独形

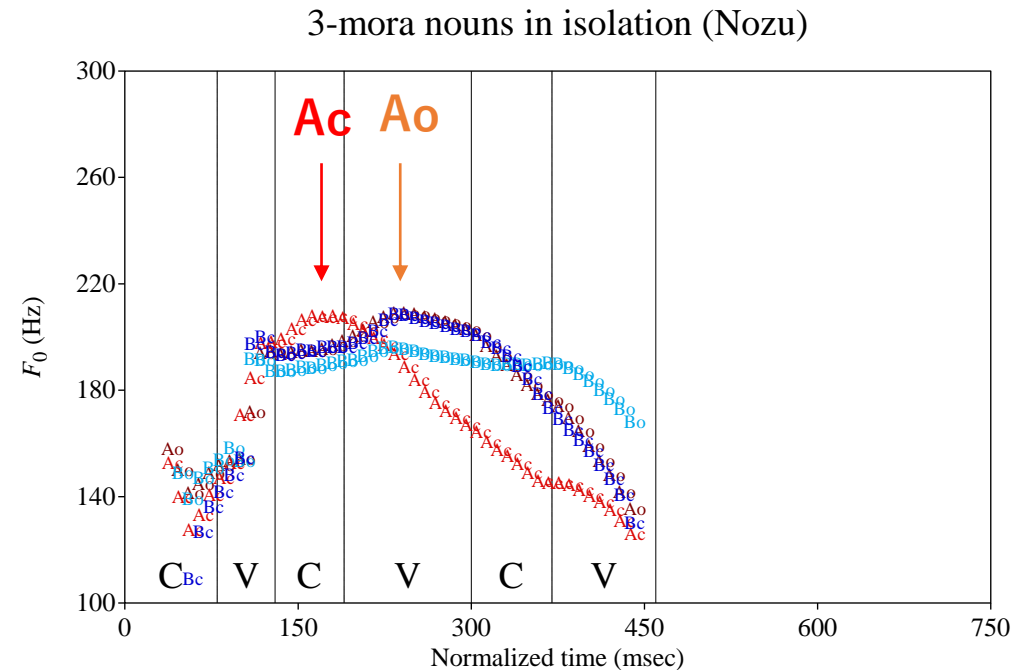


年の神方言：3モーラ名詞単独形

結果：野津方言のA型名詞単独形



野津方言：2モーラ名詞単独形



野津方言：3モーラ名詞単独形

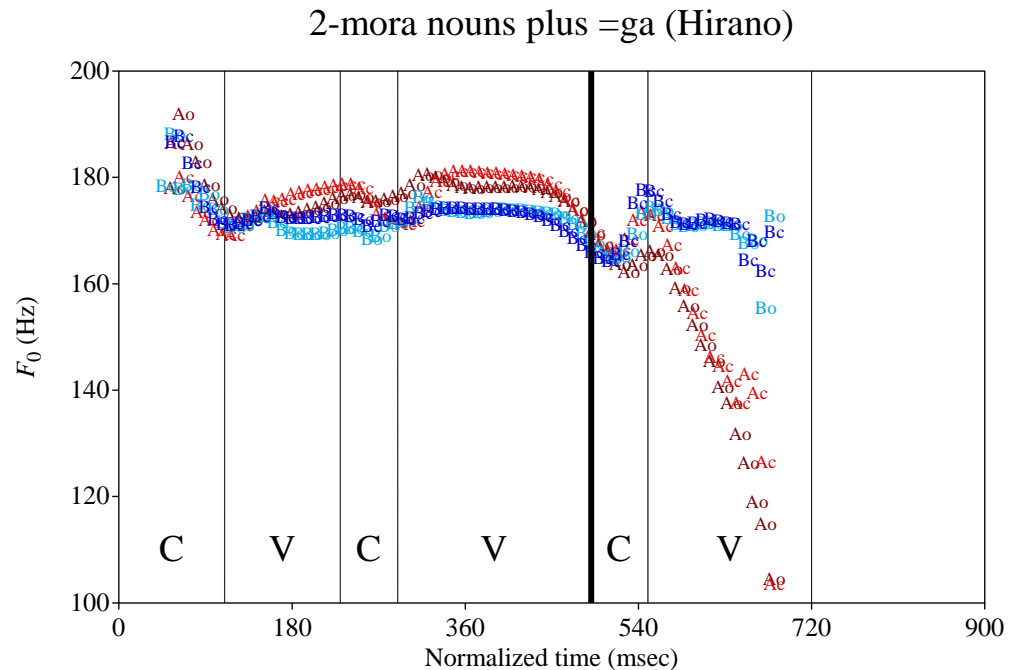
結果：A型名詞単独形

- 3方言に共通して見られる特徴
 - ✓名詞単独形で、狭母音（Ac）よりも広母音（Ao）のほうが下降の開始が遅い
- 個別の方言の観察
 - ✓野津方言の2モーラ名詞単独形では語末の母音の広狭の差が見られない
 - ✓平野方言ではアクセント単位頭のfo上昇がほとんど見られない

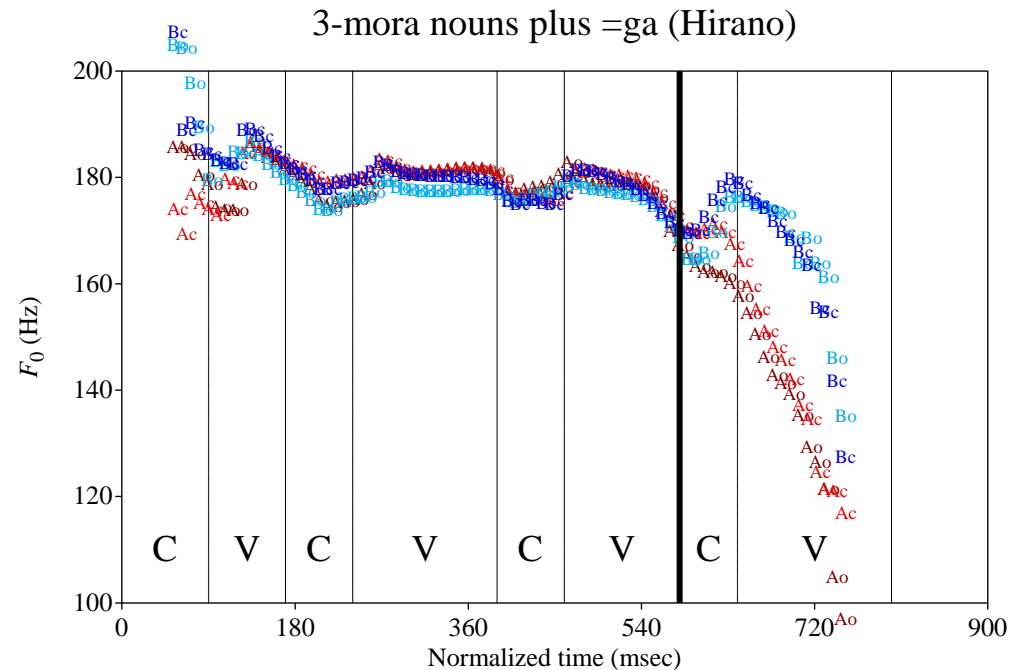
結果：A型名詞=ga

- 3方言に共通して見られる特徴
 - ✓助詞付きでは狭母音（Ac）と広母音（Ao）の影響は見られない
- 個別の方言の観察
 - ✓野津方言の2モーラ名詞=gaではAcの下降開始が遅い
 - ✓平野方言ではアクセント単位頭のfo上昇がほとんど見られない

結果：平野方言のA型=ga

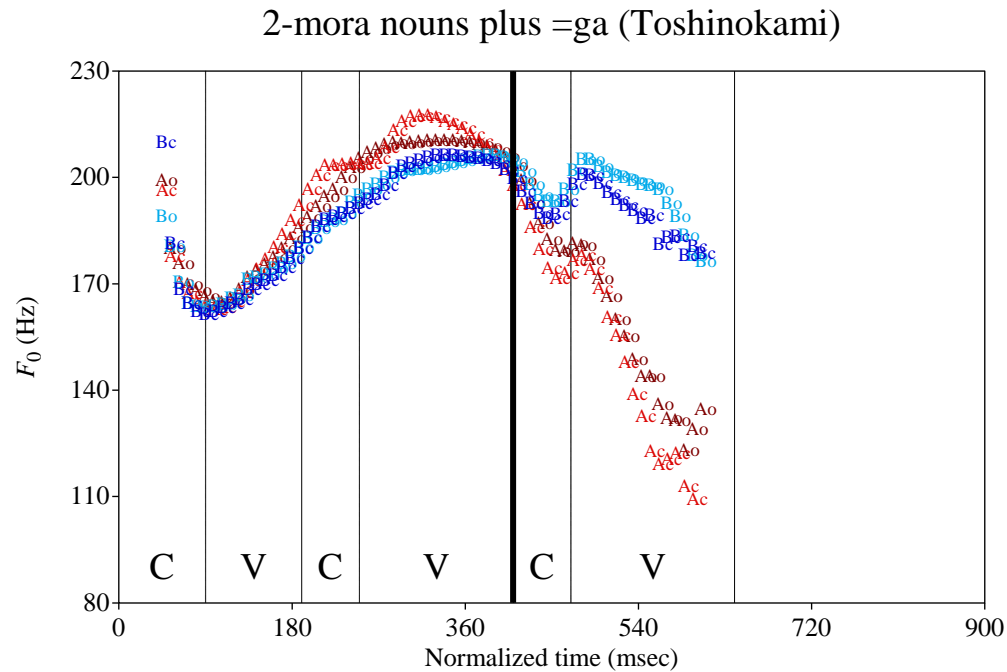


平野方言：2モーラ名詞=ga

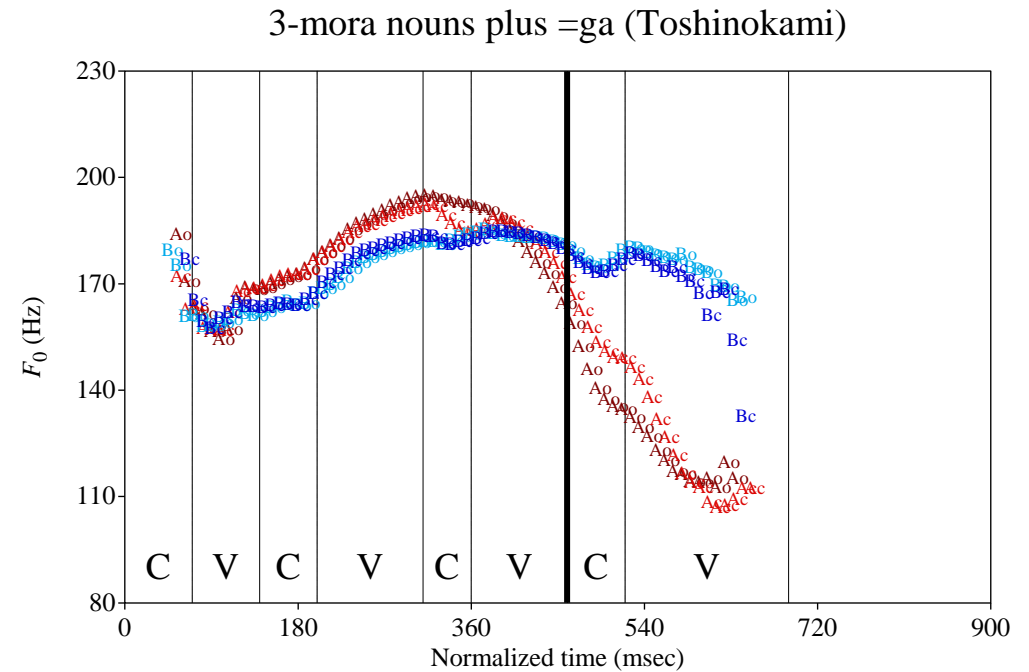


平野方言：3モーラ名詞=ga

結果：年の神方言のA型=ga

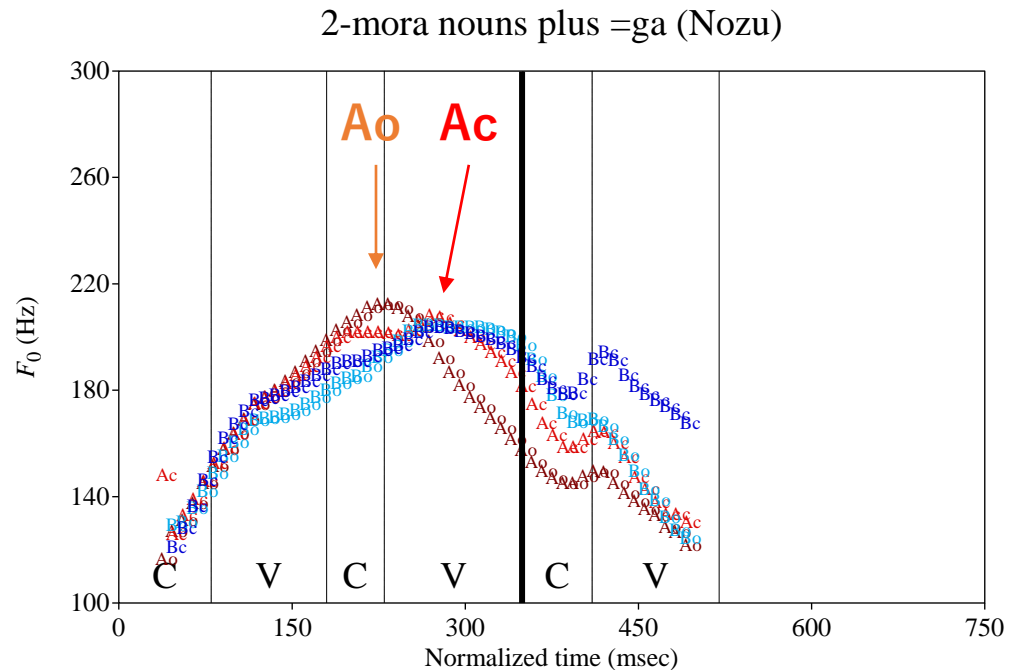


年の神方言：2モーラ名詞=ga

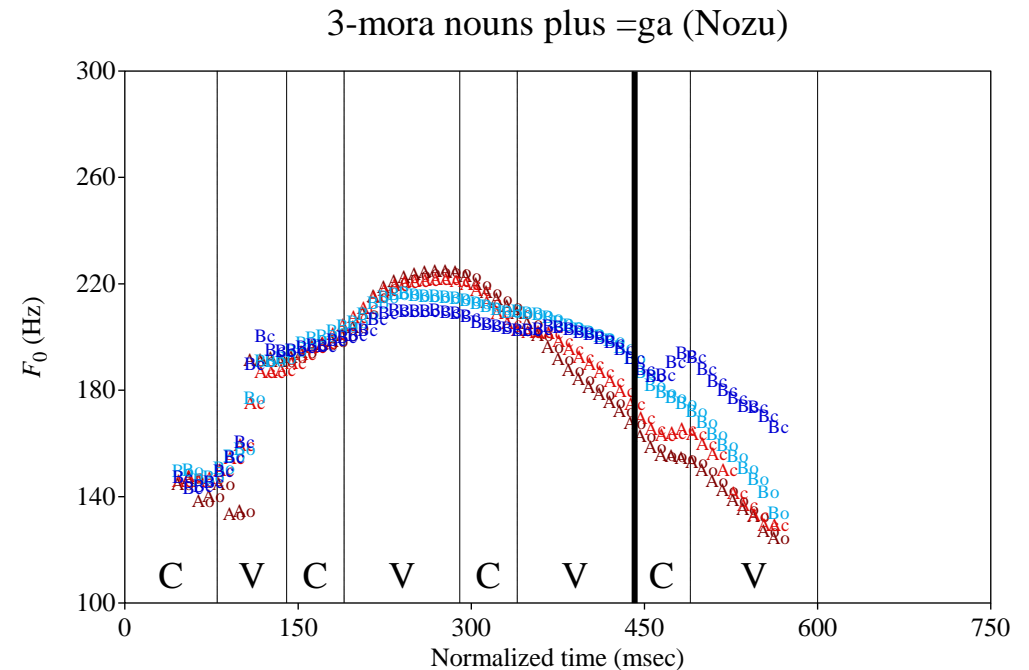


年の神方言：3モーラ名詞=ga

結果：野津方言のA型=ga



野津方言：2モーラ名詞=ga



野津方言：3モーラ名詞=ga

結果：A型名詞=ga

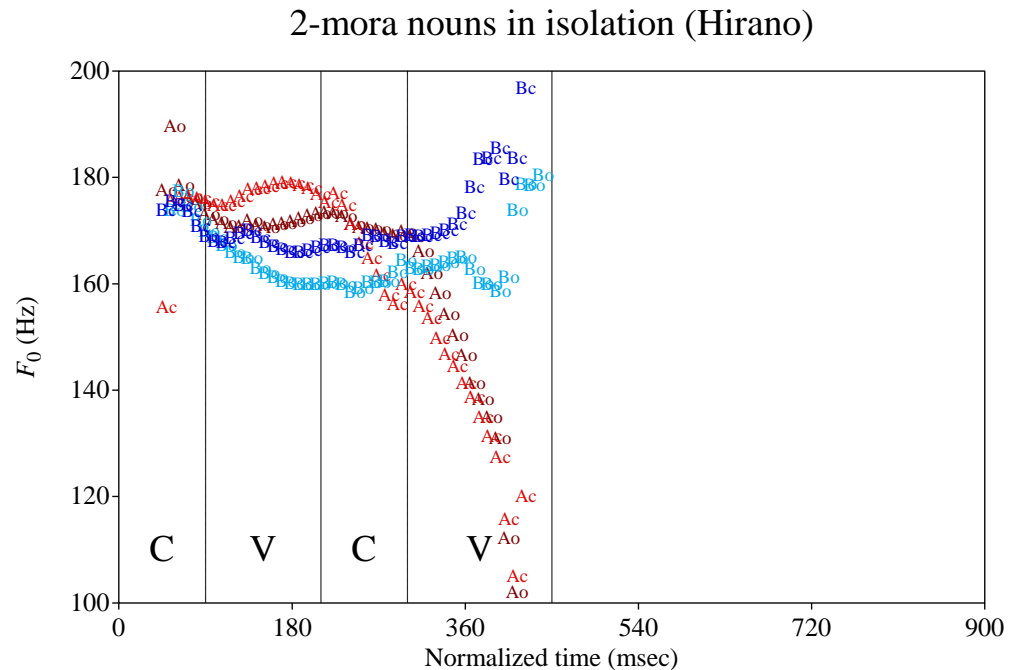
- 3方言に共通して見られる特徴
 - ✓助詞付きでは狭母音（Ac）と広母音（Ao）の影響は見られない
- 個別の方言の観察
 - ✓野津方言の2モーラ名詞=gaではAcの下降開始が遅い
 - ✓平野方言ではアクセント単位頭のfo上昇がほとんど見られない

結果：平野方言のB型

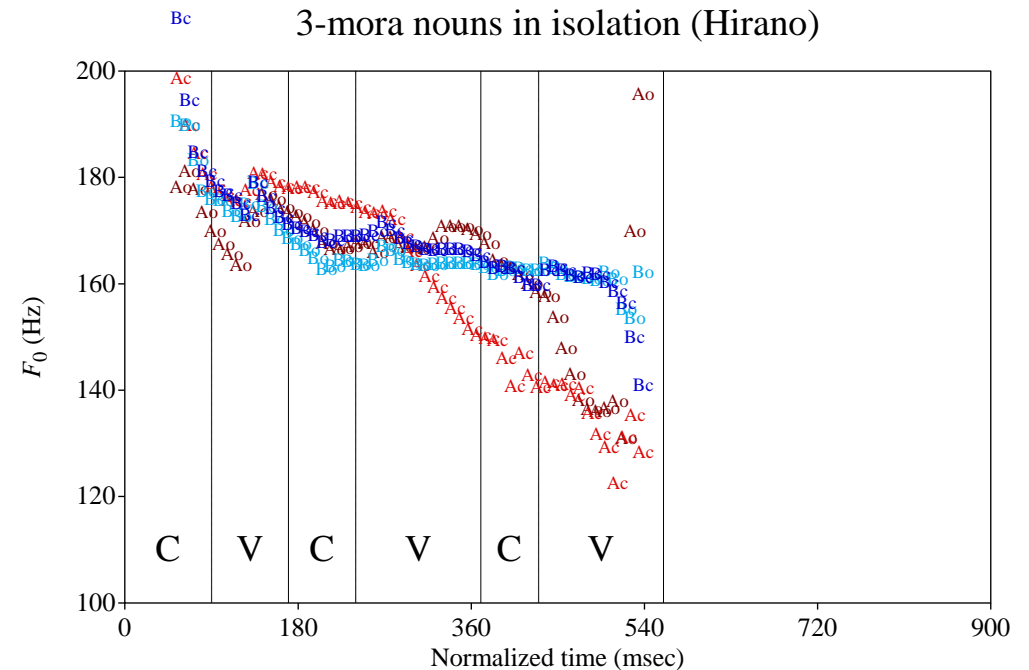
- 平野方言のB型

- ✓ 名詞単独形、名詞=gaいずれにおいても語末の母音の種類は影響なし
- ✓ アクセント単位内でのfoの顕著な下降は無い
- ✓ アクセント単位頭のfoの上昇も無い
- ✓ 顕著な下降があるA型 vs. 顕著な下降が無いB型

結果：平野方言のB型名詞単独形

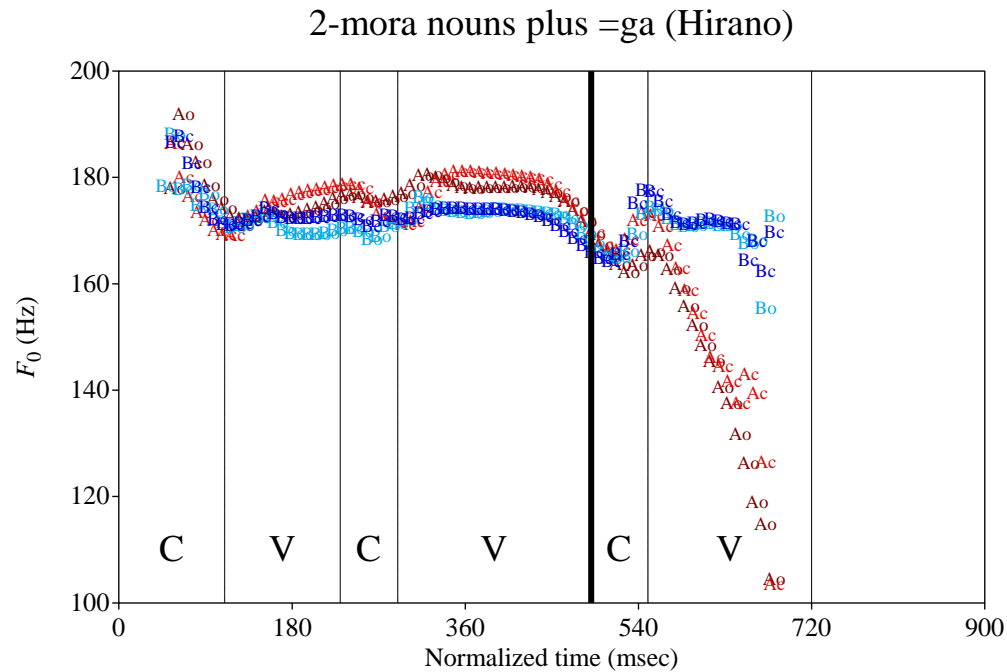


平野方言：2モーラ名詞単独形

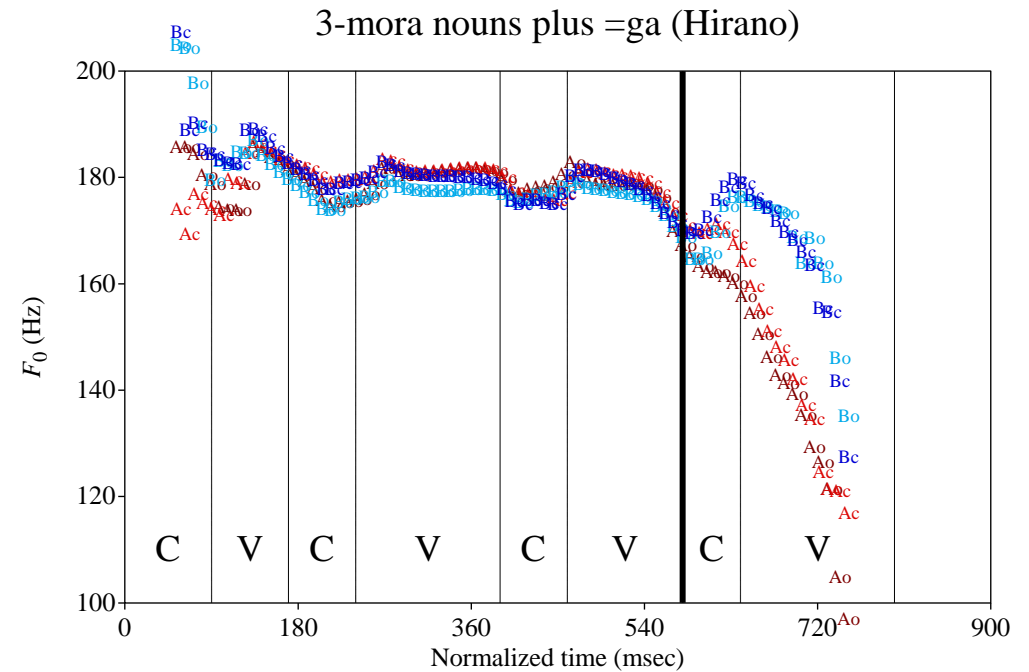


平野方言：3モーラ名詞単独形

結果：平野方言のB型=ga



平野方言：2モーラ名詞=ga



平野方言：3モーラ名詞=ga

結果：年の神方言のB型

- 年の神方言のB型

- ✓ 名詞単独形

- 語末が狭母音（Bc）：次末モーラと末モーラの境界付近に顕著なfo下降あり
 - 語末が広母音（Bo）：顕著な下降なし

- ✓ 名詞=ga

- 語末の母音に関わらず、foの顕著な下降は見られない

結果：年の神方言のB型

- 年の神方言のB型

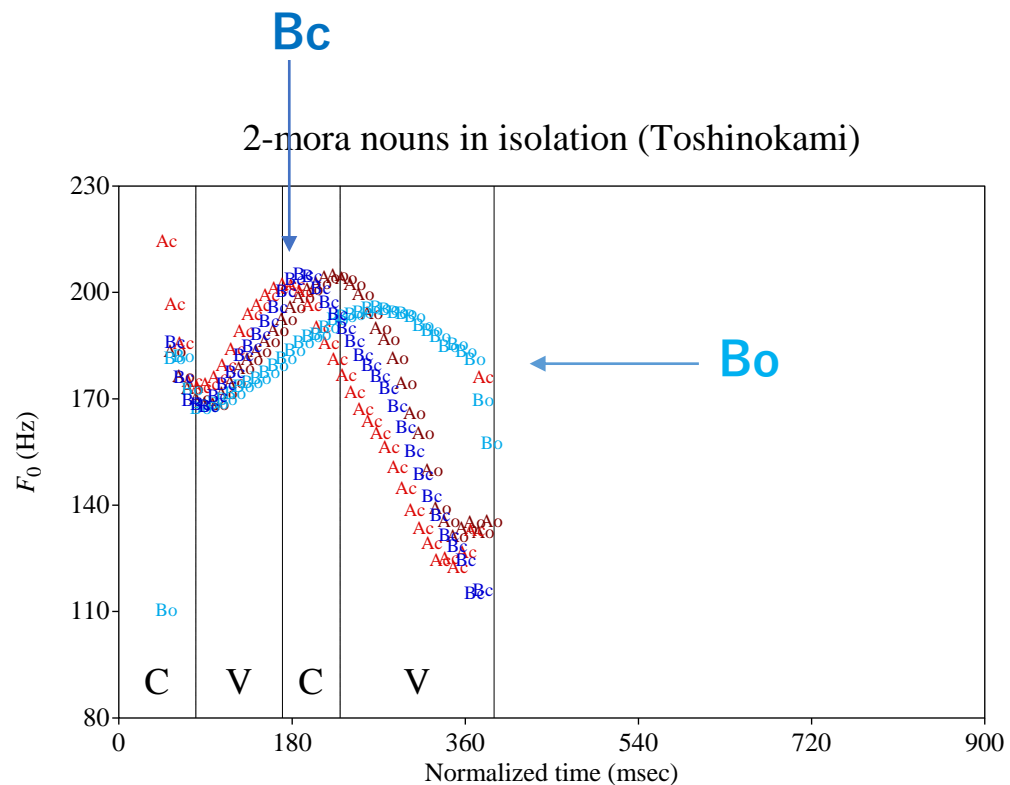
- ✓ 名詞単独形

- 語末が狭母音（Bc）：次末モーラと末モーラの境界付近に顕著なfo下降あり
 - 語末が広母音（Bo）：顕著な下降なし

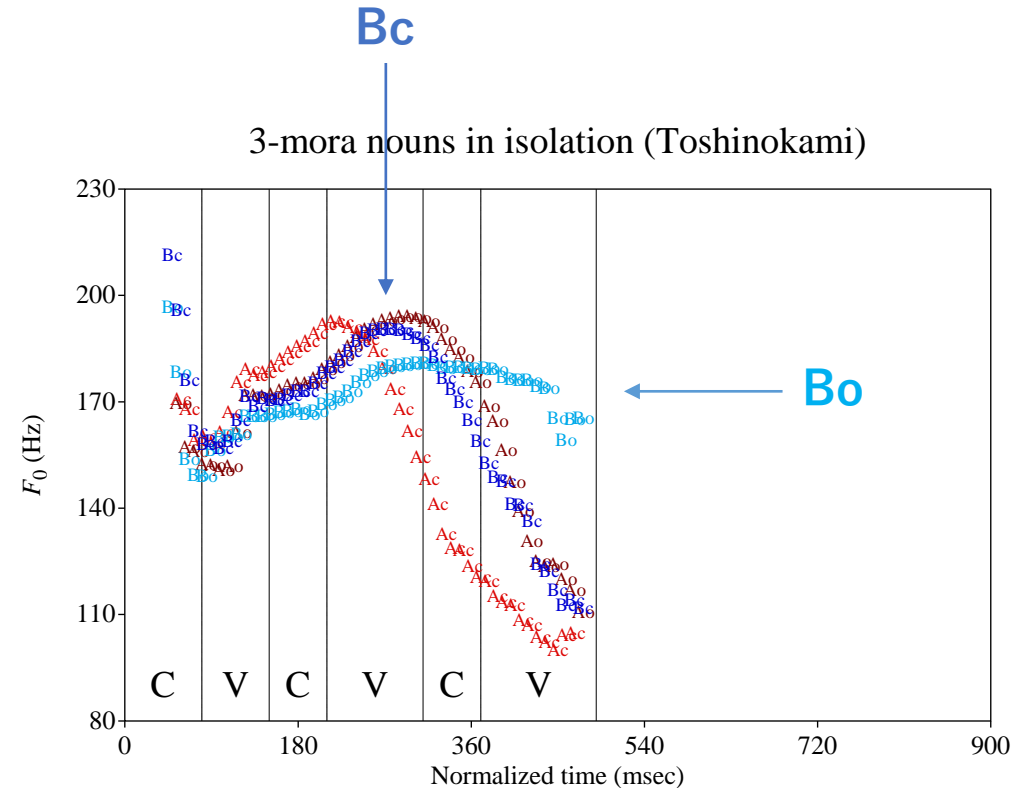
- ✓ 名詞=ga

- 語末の母音に関わらず、foの顕著な下降は見られない

結果：年の神方言のB型名詞単独形



年の神方言：2モーラ名詞単独形



年の神方言：3モーラ名詞単独形

結果：年の神方言のB型

- 年の神方言のB型

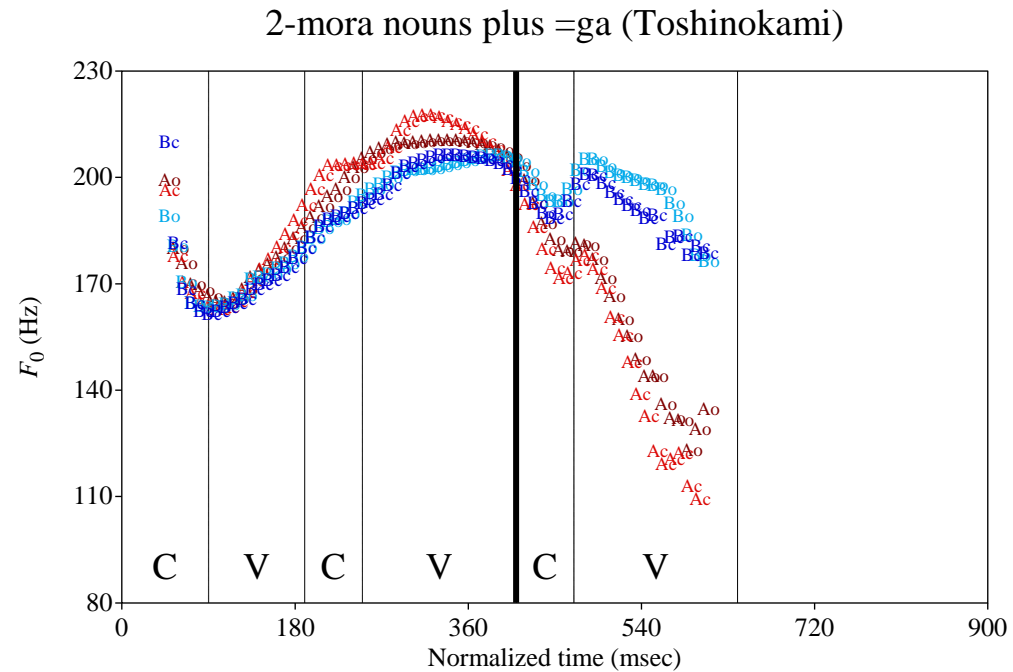
- ✓ 名詞単独形

- 語末が狭母音（Bc）：次末モーラと末モーラの境界付近に顕著なfo下降あり
 - 語末が広母音（Bo）：顕著な下降なし

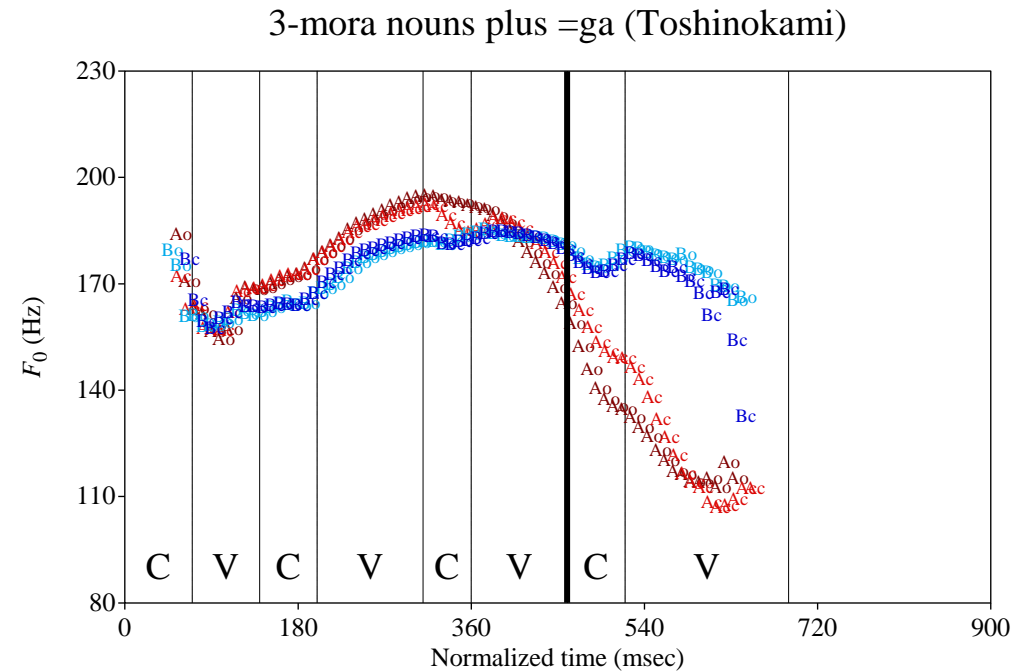
- ✓ 名詞=ga

- 語末の母音に関わらず、foの顕著な下降は見られない

結果：年の神方言のB型=ga



年の神方言：2モーラ名詞=ga



年の神方言：3モーラ名詞=ga

結果：野津方言のB型

- 野津方言のB型

- ✓ 名詞単独形

- 語末が狭母音 (Bc) : 次末モーラと末モーラの境界付近に顕著なfo下降あり
 - 語末が広母音 (Bo) : 顕著な下降なし

- ✓ 名詞=ga

- **語末**が狭母音 (Bc) : 顕著な下降なし
 - **語末**が広母音 (Bo) : 名詞と助詞の境界付近に顕著な下降あり

結果：野津方言のB型

- 野津方言のB型

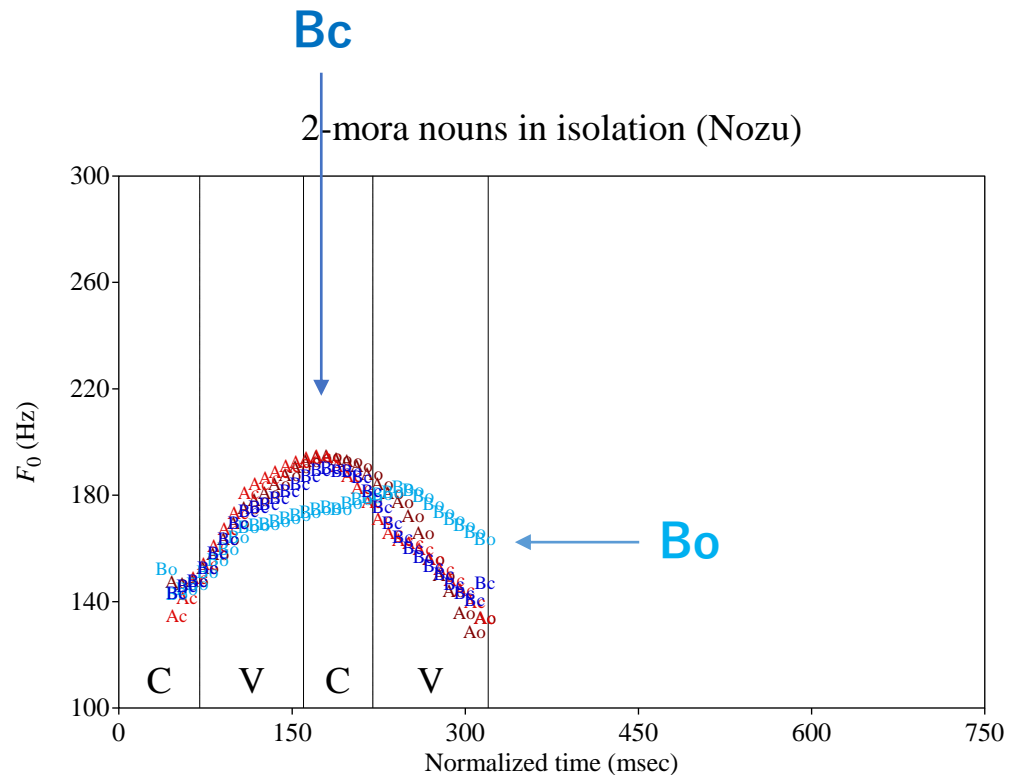
- ✓ 名詞単独形

- 語末が狭母音 (Bc) : 次末モーラと末モーラの境界付近に顕著なfo下降あり
 - 語末が広母音 (Bo) : 顕著な下降なし

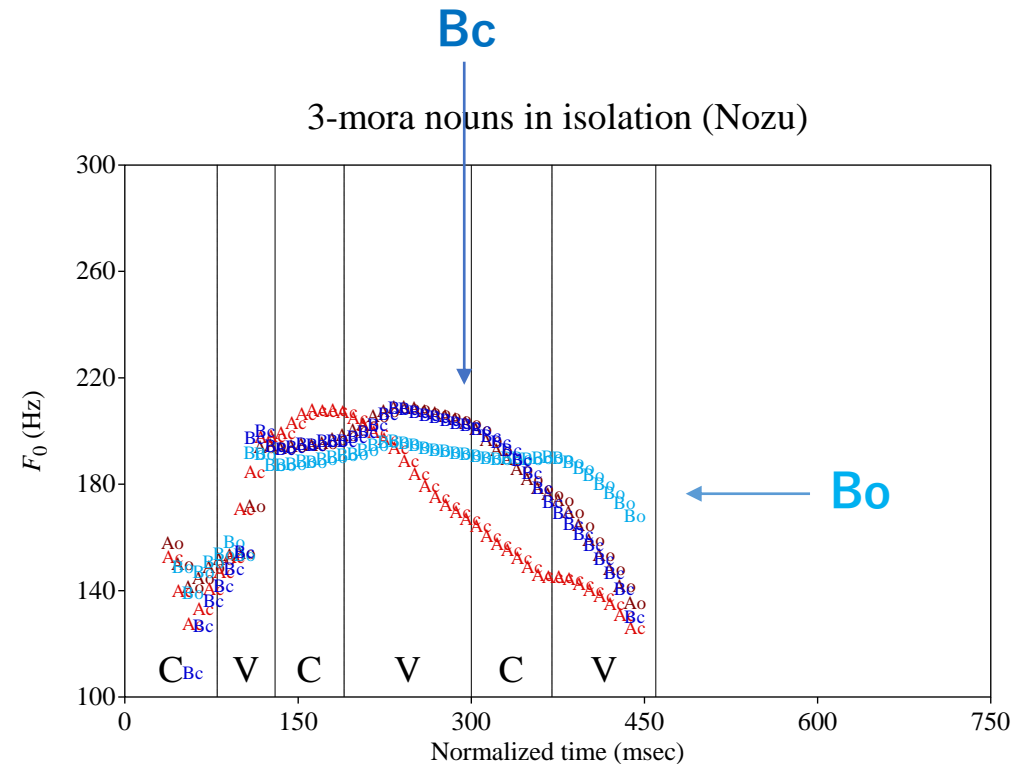
- ✓ 名詞=ga

- 語末が狭母音 (Bc) : 顕著な下降なし
 - 語末が広母音 (Bo) : 名詞と助詞の境界付近に顕著な下降あり

結果：野津方言のB型名詞単独形



野津方言：2モーラ名詞単独形



野津方言：3モーラ名詞単独形

結果：野津方言のB型

• 野津方言のB型

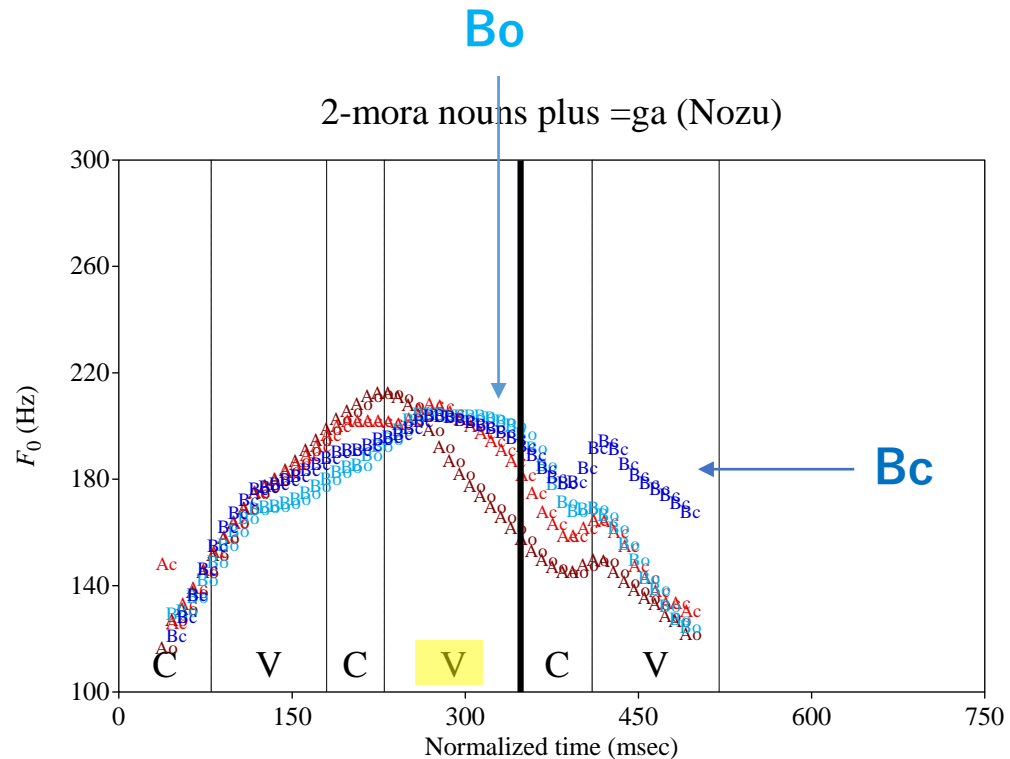
✓ 名詞単独形

- 語末が狭母音 (Bc) : 次末モーラと末モーラの境界付近に顕著なfo下降あり
- 語末が広母音 (Bo) : 顕著な下降なし

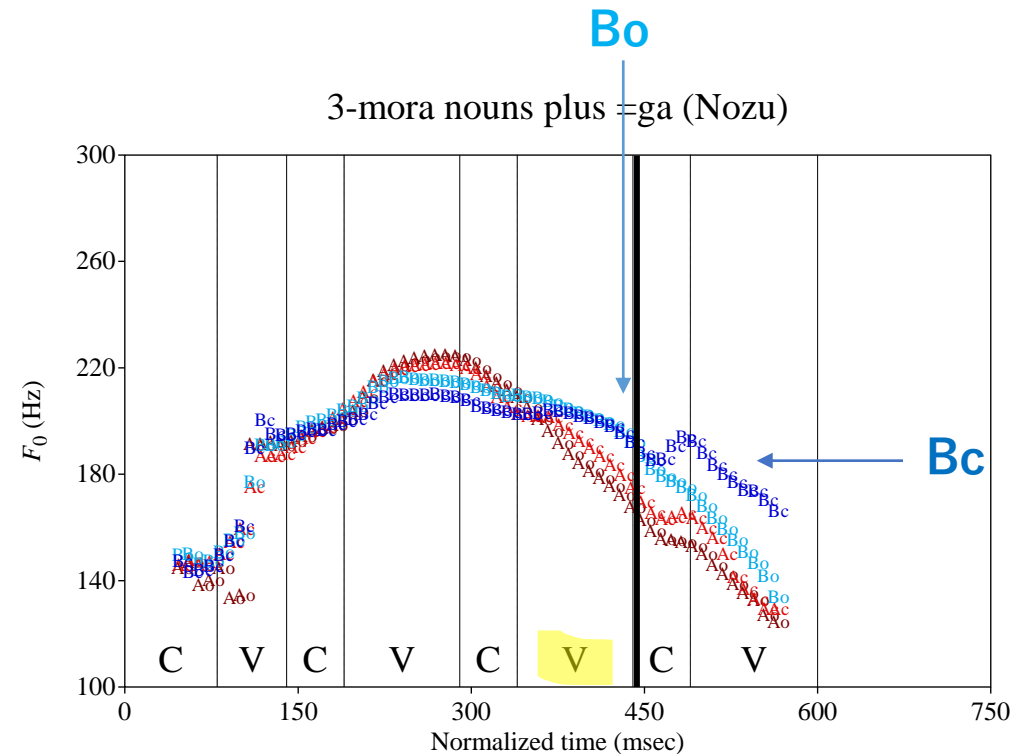
✓ 名詞=ga

- **語末**が狭母音 (Bc) : 顕著な下降なし
- **語末**が広母音 (Bo) : 名詞と助詞の境界付近に顕著な下降あり

結果：野津方言のB型=ga

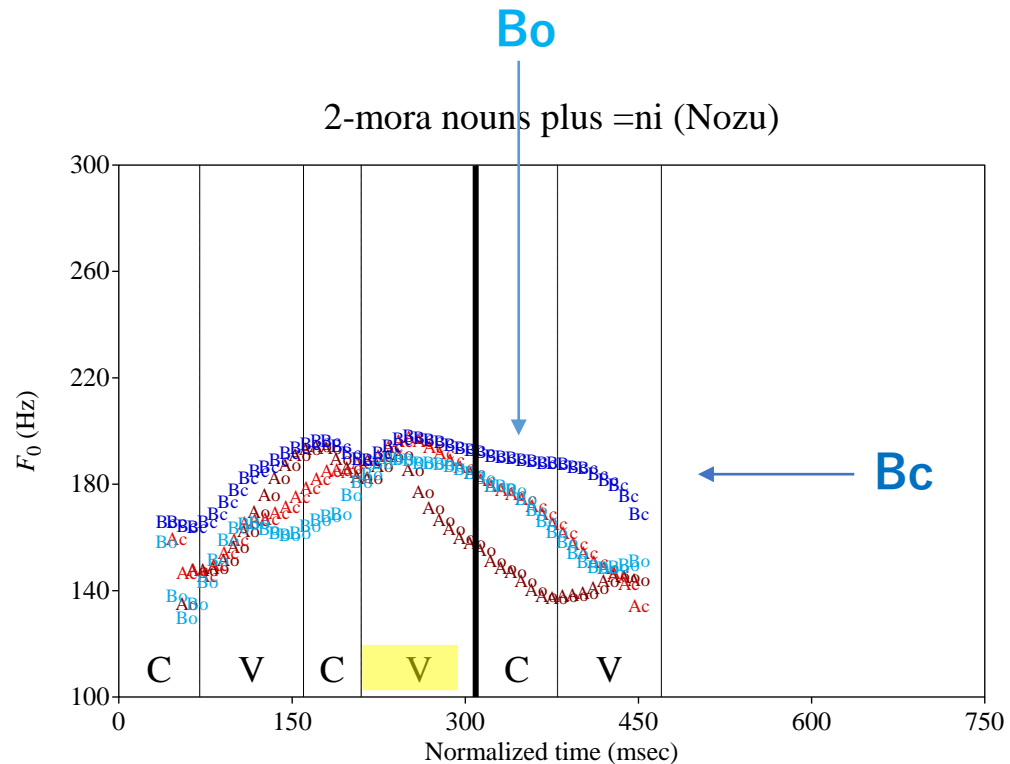


野津方言：2モーラ名詞=ga

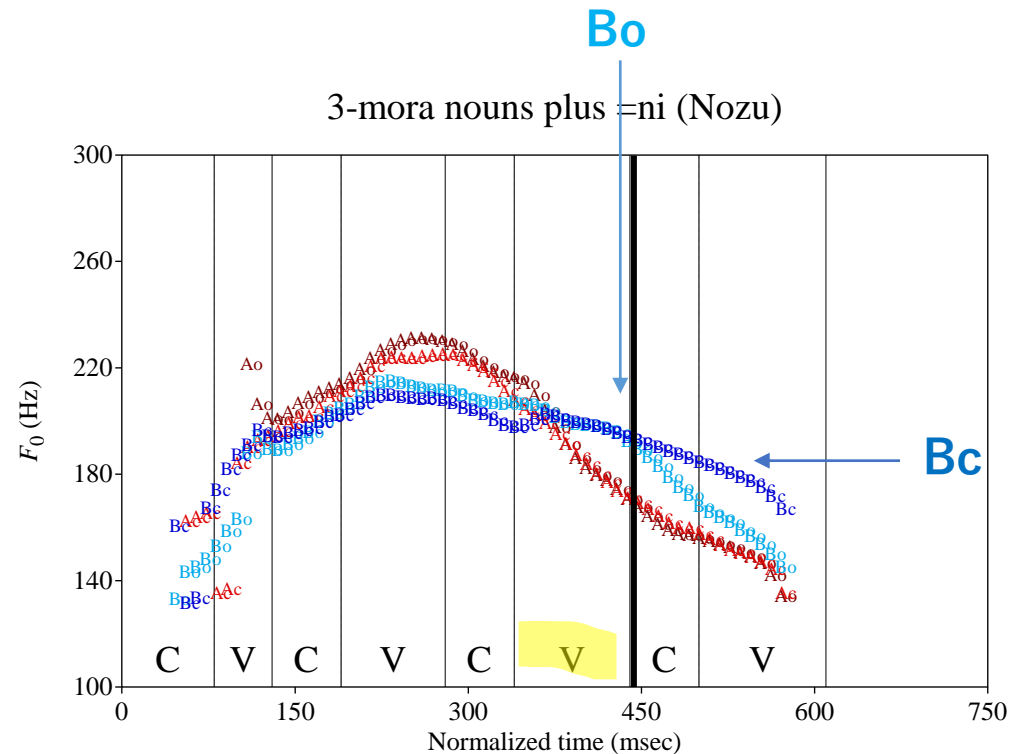


野津方言：3モーラ名詞=ga

結果：野津方言のB型=ni

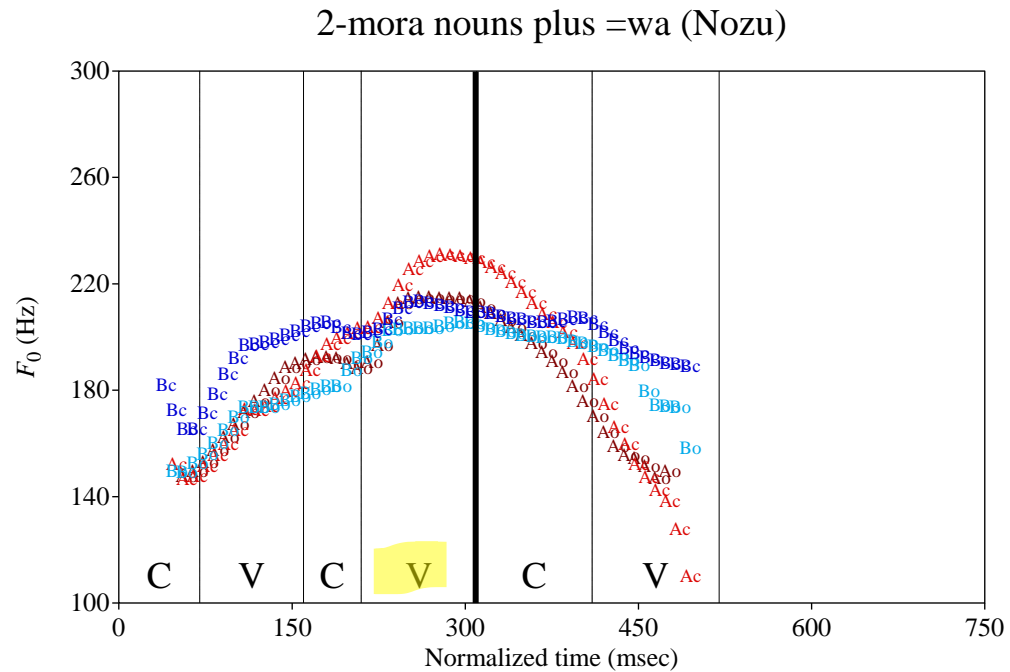


野津方言：2モーラ名詞=ni

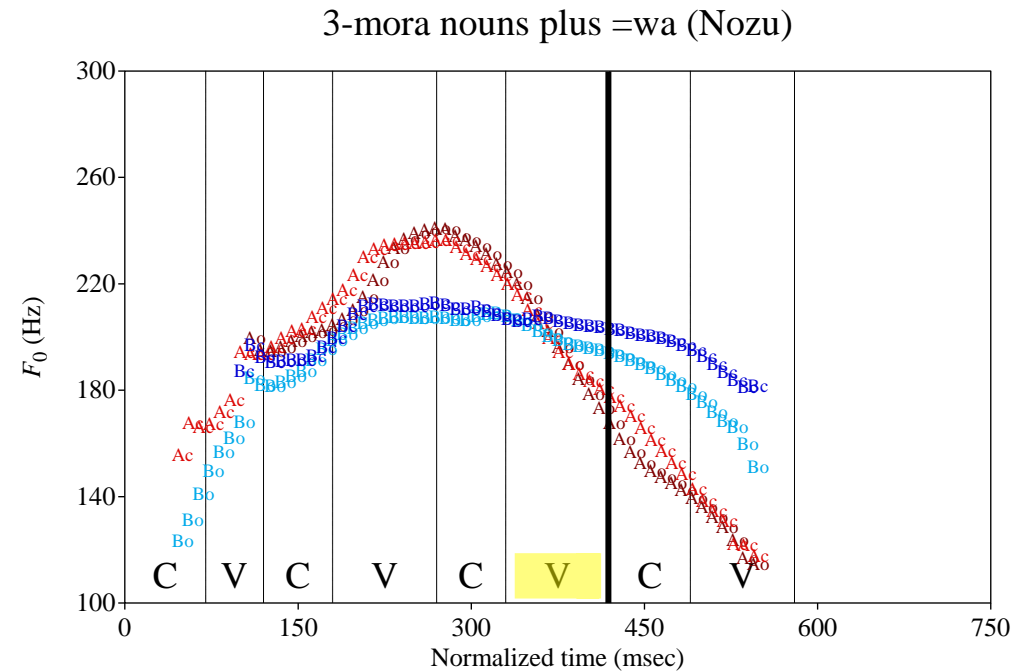


野津方言：3モーラ名詞=ni

結果：野津方言のB型=wa



野津方言：2モーラ名詞=wa



野津方言：3モーラ名詞=wa

ここまでのまとめ

まとめ

- A型単独形は平野・年の神・野津3方言に共通して、広母音終わり（Ao）のほうが下降開始が遅い
 - 熊本県宇城市三角町大岳方言の二型アクセント（崎村2006）も同様の傾向があることが伺える

大岳方言の二型アクセント（崎村2006）

A型		B型
語末が狭母音	語末が広母音	
[○]○	○[○]	○○

まとめ

- B型における語末の母音の広狭の影響をまとめると、以下の3タイプに分類できる

B型の語末の母音の広狭の影響	方言
なし	平野
名詞単独形のみ	年の神
名詞単独形、助詞付き	野津

まとめ

- B型における語末の母音の広狭の影響をまとめると、以下の3タイプに分類できる

B型の語末の母音の広狭の影響	方言
なし	平野、鹿児島市、長崎市
名詞単独形のみ	年の神
名詞単独形、助詞付き	野津、新北肥後式

野津方言の1モーラ名詞

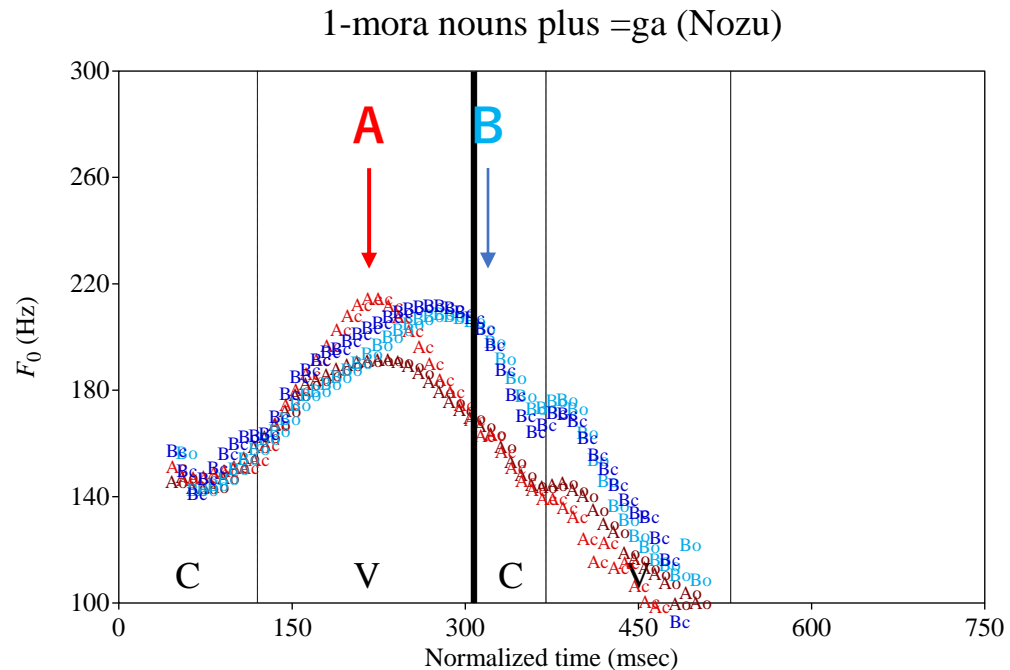
野津方言の1モーラ名詞

- 西南部九州二型アクセントでの、「1モーラ名詞+助詞」
(ex. 蚊が、目が、湯が) のときのアクセント型の対立の仕方
 1. 下降 (A型) vs. 非下降 (B型)
 - 鹿児島方言など : H=L (A型) vs. L=H (B型)
 2. 速い下降 (A型) vs. 遅い下降 (B型)
 - 旧杵島郡北方方言 : H=L ~ F=L (A型) vs. H=L (B型)
 3. 対立を失う
 - 玉名市方言 : H=L

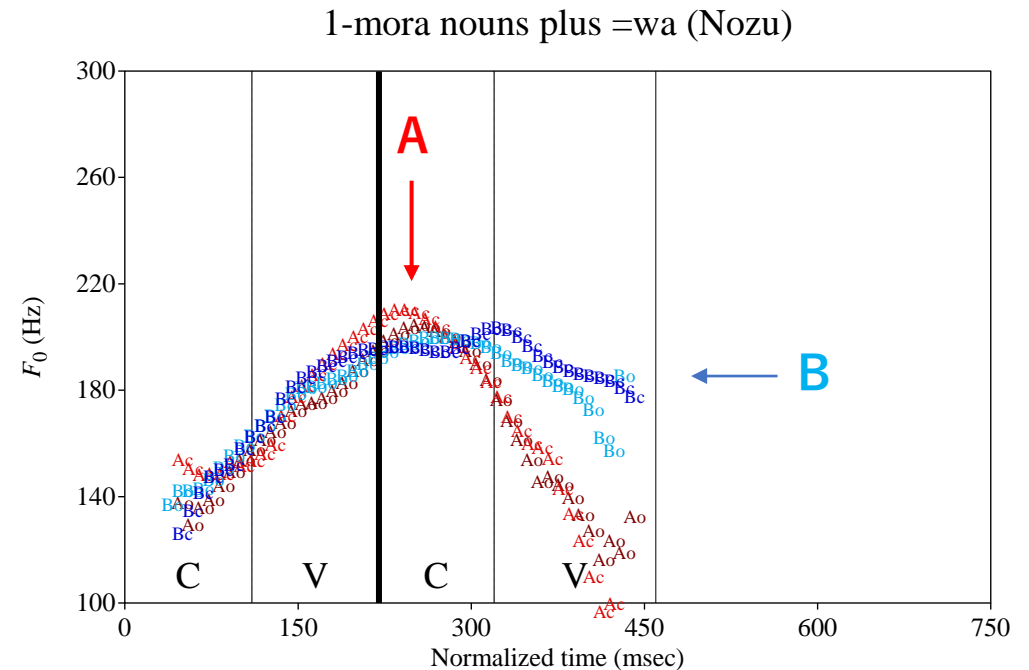
野津方言の1モーラ名詞

- 野津方言の「1モーラ名詞=助詞」には2種類の実現がある
 1. 下降開始のタイミングで対立
 2. 下降の有無で対立

野津方言の1モーラ名詞=助詞



野津方言：1モーラ名詞=ga



野津方言：1モーラ名詞=wa

野津方言の1モーラ名詞=助詞

1. 下降開始のタイミングで対立
 - A型：名詞の母音区間内部で下降開始
 - B型：助詞の子音区間始端で下降開始
 - ガ、ニ、ノ、バ
2. 下降の有無で対立
 - A型：助詞の子音区間始端で下降開始
 - B型：下降なし
 - ワ、モ、ン、マデ

参考文献

- 木部暢子（2000）『西南部九州二型アクセントの研究』東京：勉誠出版.
- 木部暢子（2012）「西南部九州二型アクセントの特性の比較 一助詞・助動詞のアクセントを中心として一」『音声研究』16:1, 80-92.
- 坂口至（2001）「長崎方言のアクセント」『音声研究』5:3, 33-41.
- 崎村弘文（2006）『琉球方言と九州方言の韻律論的研究』東京：明治書院.
- 添田健治郎（1996）『日本語アクセント史の諸問題』東京：武蔵野書院.
- 平山輝男（1951）『九州方言音調の研究』東京：学界之指針社.
- 平子達也・五十嵐陽介（2016a）「佐賀県中南部諸方言のアクセントについて」『実践女子大学文学部紀要』58: 1-22.
- 平子達也・五十嵐陽介（2016b）「熊本県玉名市方言のアクセントについての初期報告」『実践國文學』89: 107-69.
- 松浦年男（2014）『長崎方言からみた語音調の構造』東京：ひつじ書房.
- 松森晶子・新田哲夫・木部暢子・中井幸比古（2012）『日本語アクセント入門』東京：三省堂書店.

補足



補足

- B型における語末の母音の広狭の影響をまとめると、以下の3タイプに分類できる

B型の語末の母音の広狭の影響	方言
なし	平野、 <u>壬丁</u> 、鹿児島市、長崎市
名詞単独形のみ	年の神、 <u>鏡村</u>
名詞単独形、助詞付き	野津、 <u>東小川</u> 、 <u>戸馳</u> 、 <u>上鏡</u> 、新北肥後式